

商工費

事業概要

事務事業評価シート(平成29年度事業)

事務事業名	企業立地の促進					事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部企業支援課											
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37		企業支援	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-		
予算科目	会計	一般会計		款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	八王子市企業立地支援条例、八王子市企業立地支援条例施行規則											
事業目的 (最終的に目指す状態)	八王子ビジョン2022及び産業振興マスタープラン【第2期】に掲げる企業支援における企業誘致の推進を図るため、企業立地支援条例を活用した企業立地促進事業を進めていく。											

行政コスト計算書

(単位 円)

勘定科目		28年度	29年度	対前年度	勘定科目	28年度	29年度	対前年度		
経常費用	人件費	職員給与費	10,697,039	18,226,441	7,529,402	経常収入	保険料	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	1,542,241	10,749,708	9,207,467		国庫支出金	0	0	0
		その他	0	0	0		都支出金	98,245,000	89,704,000	8,541,000
	小計	12,239,280	28,976,149	16,736,869	分担金及び負担金		0	0	0	
	物件費等	物件費	96,120	0	96,120		使用料及び手数料	0	0	0
		維持補修費	0	0	0		繰入金	0	0	0
		減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
		その他	0	0	0		小計	98,245,000	89,704,000	8,541,000
	小計	96,120	0	96,120	経常収支差額(A)		341,391,000	406,300,886	64,909,886	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0		特別費用	0	0	0
徴収不能引当金繰入額		0	0	0	特別収入	0	0	0		
その他		0	0	0	特別収支差額(B)	0	0	0		
小計	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)	341,391,000	406,300,886	64,909,886			
小計	12,335,400	28,976,149	16,640,749	一般財源充当額(D)	14,588,161	398,609,718	384,021,557			
移転費用	427,300,600	467,028,737	39,728,137	再計(C)+(D)	326,802,839	7,691,168	319,111,671			
小計	439,636,000	496,004,886	56,368,886							

29年度	経常費用	経常収入
主な内訳	企業立地・雇用促進奨励金等【450,000,200円】 市内雇用促進加算金等【17,028,537円】	産業集積活性化支援事業費補助金(都)【89,704,000円】
主な増減理由	企業立地・雇用促進奨励金等の交付実績の増【39,728,137円】	都補助金充当額の減【8,541,000円】

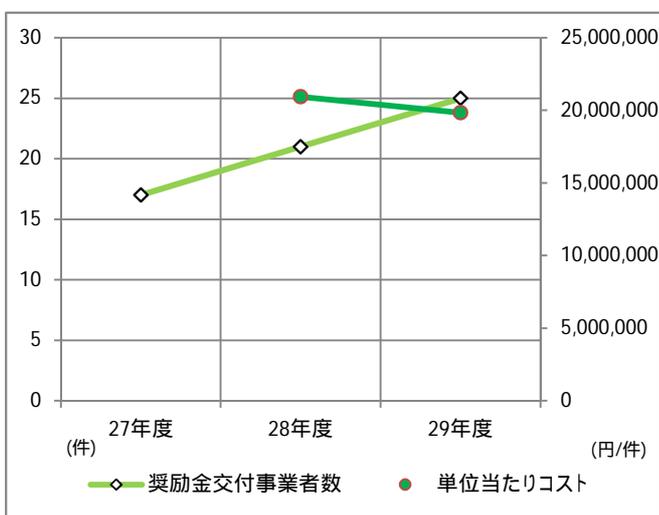
事業の人員体制

	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	1.63人	1.46人	2.51人	1.05人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.63人	1.46人	2.51人	1.05人

指標と単位当たりコスト

指標名	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
奨励金交付事業者数	17	21	25	4
単位当たりコスト		20,935,048	19,840,195	1,094,853
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

利用状況・コストの推移



事業実績

29年度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な事業用地が不足しており、企業立地サポートネットや不動産関係者とのネットワークを活かして用地情報の収集に努める。 ・昨年度に続き制度周知に注力する。 	28年度末時点 の課題と対応	<p>新たな事業用地を求める問合せが多いが、紹介できる土地が少ない状況となっている。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">未解決</p>
主な 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・企業立地支援条例を改正(7/1～)し、交付要件を緩和することで市内企業の市内への定着を促進した。 ・企業立地支援条例に基づき、8件の事業者を指定し、累計の指定実績が109件となった。 ・既指定事業者に奨励金を交付した。(奨励金交付事業者25件 467,028,737円) ・企業立地サポートネット活用実績 14件(平成28年度:19件) ・東京都、UR都市機構、金融機関、産業支援機関等への制度周知活動を実施した。 		
29年度評価	達成	次年度の展開	拡充

今後の取組

30年度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画部等の関係所管と連携し、新たな事業用地等の情報収集に努める。 ・平成31年度以降の条例改正へ向けた検討を行う。 	29年度末 時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度末までの時限条例となっている企業立地支援条例の継続へ向けた検討
30年度の 取組	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画部等の関係所管と連携し、新たな事業用地等の情報収集に努める。 ・引き続き事業用地サポートネットの活用を進める。 ・関係機関への制度周知を行う。 	31年度の 計画	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画部等の関係所管と連携し、新たな事業用地等の情報収集に努める。 ・引き続き事業用地サポートネットの活用を進める。 ・関係機関への制度周知を行う。 ・改正後の企業立地支援条例の運用

事業概要

事務事業評価シート(平成29年度事業)

事務事業名	中小企業等の活性化支援					事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部企業支援課											
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37		企業支援	まち・ひと・しごと創生総合戦略	-		
予算科目	会計	一般会計		款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	産業振興マスタープラン第二期											
事業目的 (最終的に目指す状態)	地域経済活性化のための中小企業支援											

行政コスト計算書

(単位 円)

勘定科目		28年度	29年度	対前年度	勘定科目	28年度	29年度	対前年度		
経常費用	人件費	職員給与費	8,425,751	8,713,836	288,085	経常収入	保険料	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	1,432,506	1,633,573	201,067		国庫支出金	0	0	0
		その他	0	0	0		都支出金	0	3,523,000	3,523,000
	小計	9,858,257	10,347,409	489,152	分担金及び負担金		0	0	0	
	物件費等	物件費	3,310,636	3,119,653	190,983		使用料及び手数料	0	0	0
		維持補修費	0	0	0		繰入金	0	0	0
		減価償却費	0	0	0		その他	37,968	41,722	3,754
		その他	0	0	0		小計	37,968	3,564,722	3,526,754
	小計	3,310,636	3,119,653	190,983	経常収支差額(A)		52,487,806	51,668,840	818,966	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0		特別費用	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0		特別収入	0	0	0
		その他	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0
	小計	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		52,487,806	51,668,840	818,966	
	小計	13,168,893	13,467,062	298,169	一般財源充当額(D)		52,718,201	51,678,321	1,039,880	
	移転費用	39,356,881	41,766,500	2,409,619	再計(C)+(D)		230,395	9,481	220,914	
小計	52,525,774	55,233,562	2,707,788							

29年度	経常費用	経常収入
主な内訳	小規模事業経営支援事業補助金[9,890,000円] 販路開拓支援補助金[6,077,000円] サイバーシルクロード八王子(事業費)補助金[6,605,000円] サイバーシルクロード八王子(人件費)補助金[15,953,000円] サイバーシルクロード八王子管理運営委託料[2,574,408円] 維持管理負担金[3,241,500円]	光熱水費負担金[41,722円] 産業集積活性化支援事業費補助金(都)[3,523,000円]
	主な増減理由 販路開拓支援補助金交付件数の増に伴う移転費用の増[2,407,000円] サイバーシルクロード八王子新規事業費による増[2,619円] サイバーシルクロード八王子管理運営委託料人件費等による増[20,690円]	使用量増による負担金増[3,754円]

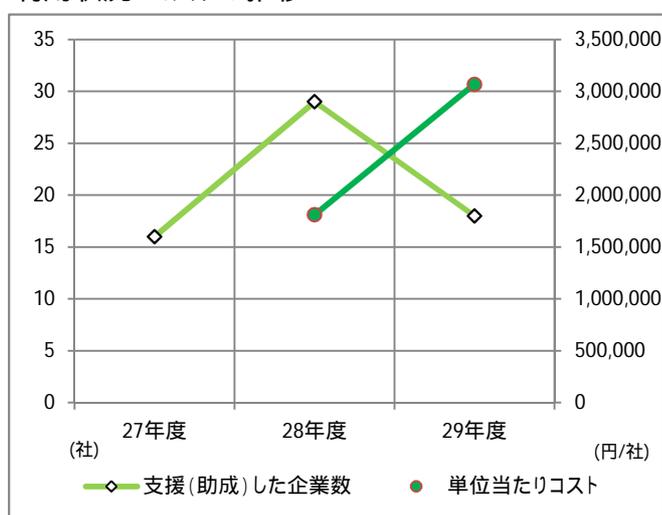
事業の人員体制

	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	1.25人	1.15人	1.20人	0.05人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.25人	1.15人	1.20人	0.05人

指標と単位当たりコスト

指標名	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
支援(助成)した企業数	16	29	18	11
単位当たりコスト		1,811,234	3,068,531	1,257,297
相談実施件数	2,309	2,767	2,340	427
単位当たりコスト		18,983	23,604	4,621
単位当たりコスト				

利用状況・コストの推移



事業実績

29年度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドファンディングと、農商工連携を更に進める。 ・昨年度を上回る件数の展示会出展補助を行う。 	28年度末時点 の課題と対応	<p>新産業創出に取り組むサイバーシルクロード八王子事業の更なる充実</p> <hr/> <p>解決</p>
主な 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・サイバーシルクロード八王子事業への支援 後継者塾の実施(全11回、参加者9名)、創業セミナーの実施(創業スクール全5日、参加者9名、ほか)、 マネジメントカフェの開催(計2回、69名参加) ・市内中小企業の販路拡大支援 出展補助中小企業企業数 18社 3,170,000円 出展補助小規模企業数 17社 2,907,000円 ・八王子商工会議所中小企業相談所が行う「経営改善普及事業」の経費の一部を補助 9,890,000円 		
29年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

今後の取組

30年度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドファンディングと、農商工連携を更に進める。 ・昨年度を上回る件数の展示会出展補助を行う。 	29年度末 時点の課題	新産業創出に取り組むサイバーシルクロード八王子事業の更なる充実
30年度の 取組	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中小企業の販路開拓支援 ・サイバーシルクロード八王子事業への支援 ・八王子商工会議所への補助金の継続 	31年度の 計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中小企業の販路開拓支援 ・サイバーシルクロード八王子事業への支援 ・八王子商工会議所への補助金の継続

事業概要

事務事業評価シート(平成29年度事業)

事務事業名	繊維産業の振興						事業類型	補助・負担・支援				
担当部課	産業振興部企業支援課											
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37	企業支援			まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	
予算科目	会計	一般会計		款	7	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	八王子市繊維産業振興事業補助金交付要綱											
事業目的 (最終的に目指す状態)	地場産業である八王子の繊維産業の振興を図るため、繊維産業振興団体が展開する新製品の開発や販路拡大等の活動を支援する。											

行政コスト計算書

(単位 円)

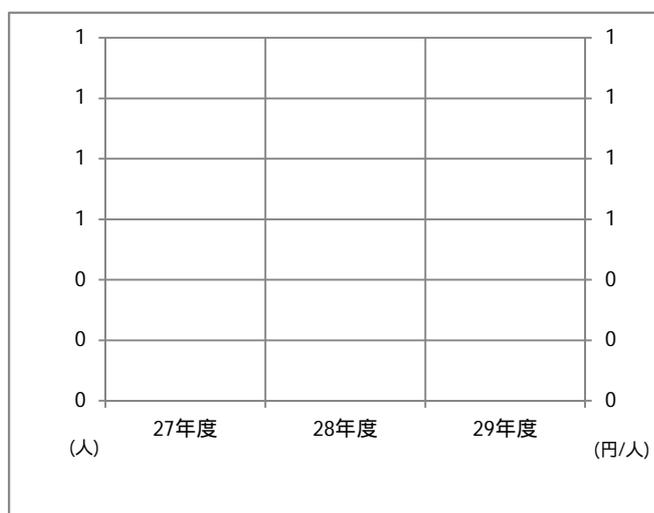
勘定科目		28年度	29年度	対前年度	勘定科目	28年度	29年度	対前年度		
経常費用	人件費	職員給与費	219,804	290,462	70,658	経常収入	保険料	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	37,370	120,388	83,018		国庫支出金	0	0	0
		その他	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	小計	257,174	410,850	153,676	分担金及び負担金		0	0	0	
	物件費等	物件費	264,532	274,612	10,080		使用料及び手数料	0	0	0
		維持補修費	0	0	0		繰入金	0	0	0
		減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
		その他	0	0	0		小計	0	0	0
	小計	264,532	274,612	10,080	経常収支差額(A)		2,483,706	2,647,462	163,756	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0		特別費用	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0		特別収入	0	0	0
		その他	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0
	小計	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		2,483,706	2,647,462	163,756	
	小計	521,706	685,462	163,756	一般財源充当額(D)		2,489,716	2,579,810	90,094	
	移転費用	1,962,000	1,962,000	0	再計(C)+(D)		6,010	67,652	73,662	
小計	2,483,706	2,647,462	163,756							

29年度	経常費用	経常収入
主な内訳	繊維産業振興補助金【1,962,000円】 伝統織物技術継承経費【274,612円】	
主な増減理由	光熱水費の使用量減による伝統織物技術継承経費減【10,080円】	

事業の人員体制

	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	0.03人	0.03人	0.04人	0.01人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.03人	0.03人	0.04人	0.01人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

指標名	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

事業実績

29年度 目標	・販路開拓事業(展示会出展)、製品開発事業(産学協働による製品開発等)を計画通り実施する。	28年度末時点 の課題と対応	・継承者の育成など八王子織物の伝統を守るための事業と、新たな視点による製品開発、新ブランド開発などの新たな事業とを同時に進める必要がある。 ・織物のまちであることの認知度を高める必要がある。
			解決
主な 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「八王子織物総合展」に出品し、産地ブランド「マルベリーシティ」ネクタイ、伝統的工芸品「多摩織」、「八王子織物×多摩美術大学」の協同連携事業によるテキスタイル製品の作品等を中心に展示し一般消費者等に対し地場織物の魅力PRに努め市場開拓に繋げた。 ・日本最大の繊維見本市「ジャパンクリエイション2018A/W展」に出展。 ・「八王子織物プロジェクト:テキスタイルデザインの開発」として、八王子織物の機屋と共同し、「八王子織物×多摩美術大学」のオリジナルブランドのテキスタイル製品を開発。 ・八王子はた織伝承会、多摩シルク21研究会それぞれの団体が年間を通じて週1回の活動を継続的に行い、機織りや染め物の伝統文化継承のための活動を行った。 		
29年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

今後の取組

30年度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓事業(展示会出展)、製品開発事業(産学協働による製品開発等)を計画通り実施する。 ・引き続き市内の機織り技術を伝承する団体に活用してもらおう。 ・団体の活動状況も見ながら、移転先を検討する。 	29年度末 時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・継承者の育成など八王子織物の伝統を守るための事業と、新たな視点による製品開発、新ブランド開発などの新たな事業とを同時に進める必要がある。 ・織物のまちであることの認知度を高める必要がある。 ・旧浅川支所の建物が老朽化のため、移転の検討が必要。
30年度の 取組	<ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓事業(展示会出展)、製品開発事業(産学協働による製品開発等)を計画通り実施する。 ・旧浅川支所の建物が老朽化のため、移転の検討。 	31年度の 計画	<ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓事業(展示会出展)、製品開発事業(産学協働による製品開発等)を計画通り実施する。 ・旧浅川支所の建物から移転先を見つける。

事業概要

事務事業評価シート(平成29年度事業)

事務事業名	起業支援					事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部企業支援課											
基本計画	編	5	章	2	施策番号	40		新産業の創出	まち・ひと・しごと創生総合戦略	-		
予算科目	会計	一般会計		款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	産業振興マスタープラン第二期											
事業目的 (最終的に目指す状態)	地域経済活性化のため、新たな活力の創出につながる新規企業創業を促す。											

行政コスト計算書

(単位 円)

勘定科目		28年度	29年度	対前年度	勘定科目	28年度	29年度	対前年度		
経常費用	人件費	職員給与費	1,099,011	2,541,536	1,442,525	経常収入	保険料	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	186,848	1,904,228	1,717,380		国庫支出金	0	0	0
		その他	0	0	0		都支出金	0	0	0
	小計	1,285,859	4,445,764	3,159,905	分担金及び負担金		0	0	0	
	物件費等	物件費	309,000	243,000	66,000		使用料及び手数料	0	0	0
		維持補修費	0	0	0		繰入金	0	0	0
		減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
		その他	0	0	0		小計	0	0	0
	小計	309,000	243,000	66,000	経常収支差額(A)		1,594,859	4,688,764	3,093,905	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0		特別費用	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0		特別収入	0	0	0
		その他	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0
	小計	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		1,594,859	4,688,764	3,093,905	
小計	1,594,859	4,688,764	3,093,905	一般財源充当額(D)	1,624,911	3,179,235	1,554,324			
移転費用	0	0	0	再計(C)+(D)	30,052	1,509,529	1,539,581			
小計	1,594,859	4,688,764	3,093,905							

29年度	経常費用	経常収入
主な内訳	アドバイザー謝礼【228,000円】	
主な増減理由	伴走支援内容等によるアドバイザー謝礼減【 81,000円】	

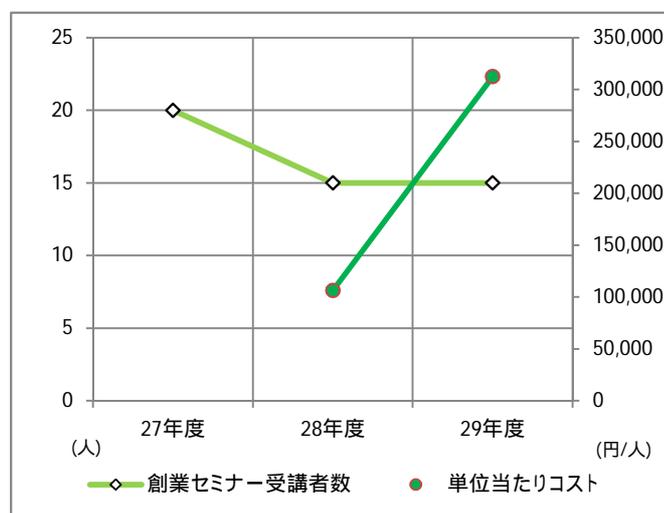
事業の人員体制

	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	0.15人	0.15人	0.35人	0.20人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.15人	0.15人	0.35人	0.20人

指標と単位当たりコスト

指標名	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
創業セミナー受講者数	20	15	15	0
単位当たりコスト		106,324	312,584	206,260
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

利用状況・コストの推移



事業実績

29年度 目標	・起業家二名に対し、一名につき年間12回の専門家による支援を実施する。	28年度末時点 の課題と対応	製造業を目指す起業・創業者への支援
			解決
主な 活動実績	・アドバイザーによる伴走支援 延べ22回(対象:29年度2名、新規2名)		
29年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

今後の取組

30年度 目標	・起業家二名に対し、一名につき年間12回の専門家による支援を実施する。	29年度末 時点の課題	あらゆる業種の起業・創業者への支援
30年度の 取組	ビジネスお助け隊アドバイザーによる伴走支援の実施	31年度の 計画	ビジネスお助け隊アドバイザーによる伴走支援の実施

事業概要

事務事業評価シート(平成29年度事業)

事務事業名	中小企業新商品開発認定制度の運営					事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部企業支援課											
基本計画	編	5	章	2	施策番号	40		新産業の創出	まち・ひと・しごと創生総合戦略	-	-	
予算科目	会計	一般会計		款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	産業振興マスタープラン第2期、地方自治法施行令第167条の2、八王子市中小企業新商品開発認定制度実施要項											
事業目的 (最終的に目指す状態)	市内中小企業による優れた新商品の開発の促進、および販路開拓の支援											

行政コスト計算書

(単位 円)

勘定科目				28年度	29年度	対前年度	勘定科目				28年度	29年度	対前年度
経常費用	人件費	職員給与費		6,594,065	6,898,454	304,389	経常収入	保険料		0	0	0	
		賞与・退職手当引当金繰入額		1,121,094	1,441,173	320,079		国庫支出金		0	0	0	
		その他		0	0	0		都支出金		0	297,000	297,000	
	小計		7,715,159	8,339,627	624,468	分担金及び負担金			0	0	0		
	物件費等	物件費		610,773	679,605	68,832		使用料及び手数料		0	0	0	
		維持補修費		0	0	0		繰入金		0	0	0	
		減価償却費		0	0	0		その他		0	0	0	
		その他		0	0	0		小計		0	297,000	297,000	
	小計		610,773	679,605	68,832	経常収支差額(A)			8,325,932	8,722,232	396,300		
	その他の業務費用	支払利息		0	0	0		特別費用		0	0	0	
		徴収不能引当金繰入額		0	0	0		特別収入		0	0	0	
		その他		0	0	0		特別収支差額(B)		0	0	0	
	小計		0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)			8,325,932	8,722,232	396,300		
	小計		8,325,932	9,019,232	693,300	一般財源充当額(D)			8,506,239	8,644,779	138,540		
	移転費用		0	0	0	再計(C)+(D)			180,307	77,453	257,760		
小計		8,325,932	9,019,232	693,300									

29年度	経常費用	経常収入
主な内訳	懇談会参加者謝礼【40,000円】 カタログ・ポスター印刷費【305,272円】 技術審査業務委託料【154,200円】 展示会展料【175,392円】	産業集積活性化支援事業費補助金(都)【297,000円】
主な増減理由	支援体制の充実に向けた人員体制(仕事量)の見直しにともなう人件費の増【624,468円】	都補助金採択にともなう都支出金の増【297,000円】

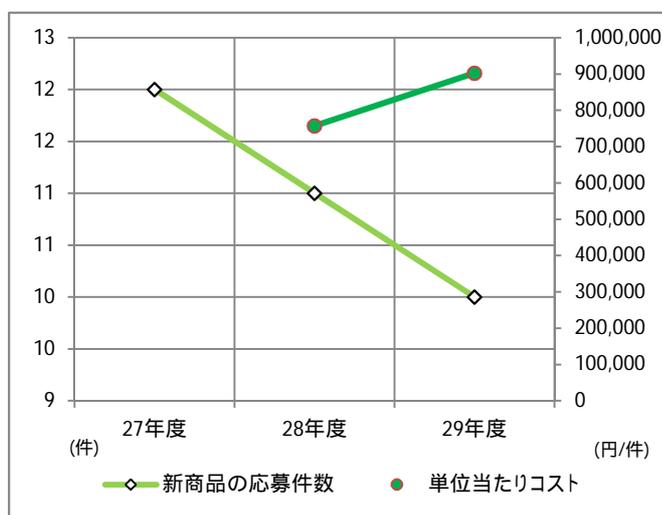
事業の人員体制

	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	0.90人	0.90人	0.95人	0.05人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.90人	0.90人	0.95人	0.05人

指標と単位当たりコスト

指標名	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
新商品の応募件数	12	11	10	1
単位当たりコスト		756,903	901,923	145,020
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

利用状況・コストの推移



事業実績

29年度 目標	15件の商品を認定する。	28年度末時点 の課題と対応	随意契約による認定商品の購入実績を増やし、 使用評価を実施すること。
			未解決
主な 活動実績	八王子市新商品開発認定制度を実施し、市内中小企業の9商品を認定した。 認定商品カタログ作成し、同制度の周知を図ったほか、東京都の産業交流展、職業能力開発センター八王子校でのイベント、本庁舎にて展示を行い、市内外の中小企業および一般市民に対する周知を図った。 また、各所管における同制度の周知が進んだ。		
29年度評価	やや不十分	次年度の展開	改善

今後の取組

30年度 目標	製品、役務合わせて20件を目標に応募案件を募集し、審査・認定する。	29年度末 時点の課題	随意契約による認定商品の購入実績の向上 認定商品の周知度の向上
30年度の 取組	八王子市中小企業新商品開発認定制度の実施	31年度の 計画	八王子市中小企業新商品開発認定制度の実施

事業概要

事務事業評価シート(平成29年度事業)

事務事業名	海外経済交流の促進					事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部企業支援課											
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37		企業支援	まち・ひと・しごと創生総合戦略	-		
予算科目	会計	一般会計		款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	八王子ビジョン2022、産業振興マスタープラン【第2期】											
事業目的 (最終的に目指す状態)	八王子ビジョン2022及び産業振興マスタープラン【第2期】に掲げる企業支援における市内企業の海外経済交流の促進を図る。											

行政コスト計算書

(単位 円)

勘定科目		28年度	29年度	対前年度	勘定科目	28年度	29年度	対前年度		
業務費用	人件費	職員給与費	7,473,274	5,300,917	2,172,357	経常収入	保険料	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	1,201,467	435,227	766,240		国庫支出金	0	0	0
		その他	0	0	0		都支出金	8,000,000	8,260,000	260,000
	小計	8,674,741	5,736,144	2,938,597	分担金及び負担金		0	0	0	
	物件費等	物件費	8,207,612	8,476,856	269,244		使用料及び手数料	0	0	0
		維持補修費	0	0	0		繰入金	0	0	0
		減価償却費	0	0	0		その他	76,875	1,811,625	1,734,750
		その他	0	0	0		小計	8,076,875	10,071,625	1,994,750
	小計	8,207,612	8,476,856	269,244	経常収支差額(A)		8,805,478	4,141,375	4,664,103	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0		特別費用	0	0	0
徴収不能引当金繰入額		0	0	0	特別収入	0	0	0		
その他		0	0	0	特別収支差額(B)	0	0	0		
小計	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)	8,805,478	4,141,375	4,664,103			
小計	16,882,353	14,213,000	2,669,353	一般財源充当額(D)	9,093,392	6,760,524	2,332,868			
移転費用	0	0	0	再計(C)+(D)	287,914	2,619,149	2,331,235			
小計	16,882,353	14,213,000	2,669,353							

29年度	経常費用	経常収入
主な内訳	海外経済交流委託料【8,260,000円】	東京都人づくり・人材確保支援事業補助金【8,260,000円】
主な増減理由	委託事業における商談会回数の増にともなう増【260,000円】	委託費の増にともなう都支出金の増【260,000円】

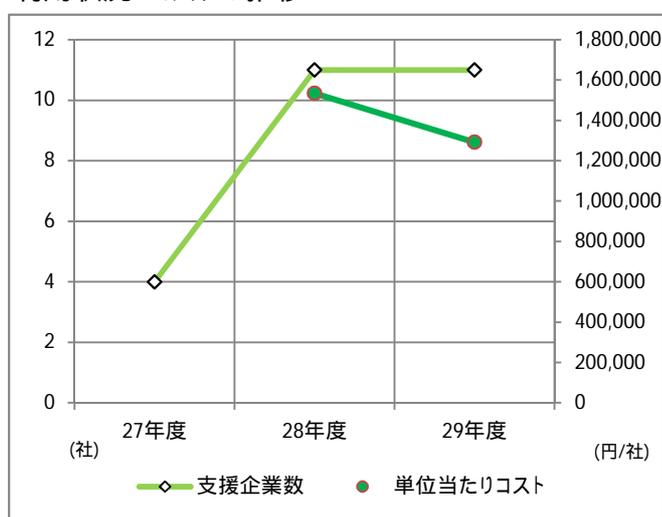
事業の人員体制

	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	0.71人	1.02人	0.73人	0.29人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.71人	1.02人	0.73人	0.29人

指標と単位当たりコスト

指標名	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
支援企業数	4	11	11	0
単位当たりコスト		1,534,759	1,292,091	242,668
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

利用状況・コストの推移



事業実績

29年度 目標	<ul style="list-style-type: none"> 台湾展示会出展予定企業向けセミナーの開催 (事前勉強会、商談会前・後フォロー) 市内中小企業の台湾での商談会実施 	28年度末時点 の課題と対応	<p>商談から事業に繋がる機会が十分に得られなかった。</p> <hr/> <p>一部解決</p>
主な 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 台湾ビジネス研究会の開催(事前勉強会、商談会前・後フォロー) 3回 市内中小企業9社の台湾での展示会出展(台中市) 5日間 市内中小企業8社と台湾企業との商談会開催(台北市、台中市) 延べ88件の商談(2日間) 		
29年度評価	達成	次年度の展開	拡充

今後の取組

30年度 目標	<ul style="list-style-type: none"> 国内での市内企業と台湾企業の共同出展実施 台湾現地での商談会開催 市事業をきっかけとする参加企業の新たなビジネス創出(2件以上目標) 今後の海外経済交流促進事業の方向性検討。 	29年度末 時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 台湾現地商談会と共に、国内での台湾企業との交流機会を探る。 海外現地での事業は当初予定はでは30年度までであり、これまでの実績を踏まえ、今後の海外経済交流事業の方向性の検討が必要。
30年度の 取組	<ul style="list-style-type: none"> 台湾ビジネス研究会の開催 参加企業PR動画の作成 国内展示会への日台企業の共同出展 台湾商談会の開催 台湾向け情報発信 	31年度の 計画	<ul style="list-style-type: none"> 産業支援機関と連携した市内中小企業の海外展開支援の実施

事業概要

事務事業評価シート(平成29年度事業)

事務事業名	中心市街地の活性化					事業類型	その他						
担当部課	拠点整備都市街地活性化課												
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興		まち・ひと・しごと創生総合戦略				
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	中心市街地の活性化に関する法律 中心市街地活性化基本計画												
事業目的 (最終的に目指す状態)	「八王子市中心市街地活性化基本計画」に基づき、中心市街地における来街者の回遊性・滞留性を向上させるためのまちの魅力づくり・にぎわいの創出に取り組むことで、中心市街地の活性化を図る。												

行政コスト計算書

(単位 円)

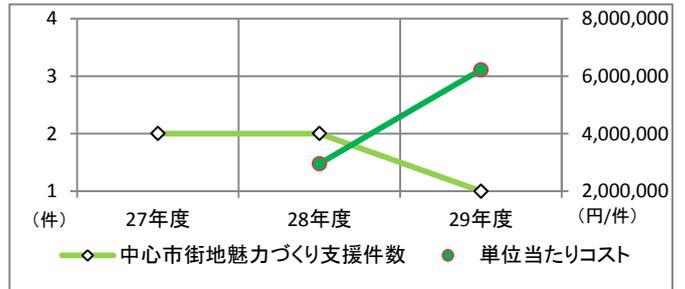
勘定科目		28年度	29年度	対前年度	勘定科目	28年度	29年度	対前年度		
経常費用	人件費	職員給与費	17,291,105	23,236,897	5,945,792	経常収入	保険料	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	5,565,759	9,339,636	3,773,877		国庫支出金	14,985,253	0	△ 14,985,253
		その他	0	0	0		都支出金	2,300,000	0	△ 2,300,000
	小計	22,856,864	32,576,533	9,719,669	分担金及び負担金		0	0	0	
	物件費等	物件費	34,250,898	13,918,338	△ 20,332,560		使用料及び手数料	0	0	0
		維持補修費	0	0	0		繰入金	0	0	0
		減価償却費	1,039,583	3,135,072	2,095,489		その他	0	0	0
		その他	0	0	0		小計	17,285,253	0	△ 17,285,253
	小計	35,290,481	17,053,410	△ 18,237,071	経常収支差額(A)		△ 47,129,732	△ 53,478,583	△ 6,348,851	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0		特別費用	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0		特別収入	0	0	0
		その他	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0
	小計	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		△ 47,129,732	△ 53,478,583	△ 6,348,851	
	小計	58,147,345	49,629,943	△ 8,517,402	一般財源充当額(D)		52,339,974	44,605,085	△ 7,734,889	
	移転費用	6,267,640	3,848,640	△ 2,419,000	再計(C)+(D)		5,210,242	△ 8,873,498	△ 14,083,740	
小計	64,414,985	53,478,583	△ 10,936,402							

29年度	経常費用	経常収入
主な内訳	中心市街地現況調査業務委託料【3,110,400円】 中心市街地オープンカフェ実施業務委託料【4,988,304円】 中心市街地おもてなし通信環境の整備運用業務委託料【3,908,952円】 共益費【752,976円】 機械警備委託料【259,200円】 夢五房修繕積立金【374,640円】 補助金交付額【3,474,000円】	—
主な増減理由	まちなか交流・活動拠点開設に係る委託料の減【△14,985,253円】 まちなか交流・活動拠点運営に係る委託料・共益費等の増【1,136,976円】 おもてなし通信環境の整備等完了に係る委託料の減【△8,273,071円】 中心市街地の現況調査に係る委託料の増【1,296,000円】	まちなか交流・活動拠点の整備完了による国・都支出金の減【△17,285,253円】

事業の人員体制

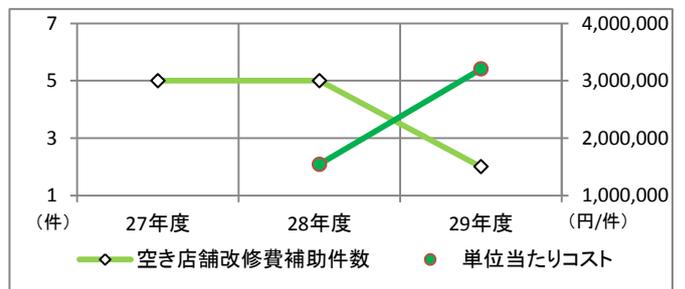
	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	1.95人	1.96人	2.70人	0.74人
任期付職員	0.00人	0.40人	0.50人	0.10人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.95人	2.36人	3.20人	0.84人

補助金の活用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

	指標名	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
①	中心市街地歩行者数	979,015	960,367	959,956	△ 411
	単当たりコスト	—	—	—	—
②	中心市街地魅力づくり支援件数	2	2	1	△ 1
	単当たりコスト	—	2,954,170	6,219,349	3,265,179
③	空き店舗改修費補助件数	5	5	2	△ 3
	単当たりコスト	—	1,542,964	3,203,225	1,660,261



事業実績

29年度 目標	中心市街地のにぎわい創出や回遊性の促進につなげるため、来街者や店舗等、中心市街地の現況を把握するとともに、既存事業の見直しやブラッシュアップを行う。	28年度末時点 の課題と対応	Wi-Fi自体の利用状況に比べ、連携ウェブサイトの利用状況が少ない状態である。また、中心市街地の施策の構築等に必要な中心市街地における来街者等の現状を把握するデータが不足している。 一部解決
主な 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなか交流・活動拠点「kikki+」を開設（5月13日） ・全国都市緑化はちおうじフェアの開催に合わせ、オープンカフェを実施（9月16日～10月15日） ・内閣総理大臣による八王子市中心市街地活性化基本計画の認定（3月23日） ・中心市街地の空き店舗を活用した出店を支援（2件の補助金交付） ・民間事業者等による中心市街地の魅力づくりを支援（1件の補助金交付） ・公共Wi-Fiの強化分として1か所増設 <p>【28年度の課題への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共Wi-Fi連携ウェブに関する周知 <ul style="list-style-type: none"> ①天狗バス（高尾山口駅～京王八王子駅間）車内へのポスター掲示（5月～） ②八王子駅北口駅前広場「河川情報板」でのアナウンス（7月～） ・来街者データの収集 <ul style="list-style-type: none"> ①店舗業態等調査（調査時期：11月24日～11月30日） ②歩行量調査の実施（調査日：12月3日・12月5日） 		
29年度評価	やや不十分	次年度の展開	改善

今後の取組

30年度 目標	中心市街地活性化基本計画に掲げる事業を適正に進行管理する。	29年度末 時点の課題	中心市街地活性化基本計画の目標指標を達成するため、①基本計画に掲げた事業の進行管理を適切に行う必要があること、②民間事業の確実な推進のための支援体制が不十分であること。
30年度の 取組	認定中心市街地活性化基本計画に掲げた事業の進行管理を行うとともに、所管事業を実施する。また、必要に応じて基本計画の見直し・修正を行い、国に対して変更申請を行う。さらに、30年度から課の体制を強化したため、中心市街地活性化協議会などの民間事業に対して十分な支援を行う。	31年度の 計画	中心市街地活性化基本計画に掲げた事業の進行管理を行うとともに、取組の検証・分析を行い、見直し・改善を図ることにより基本計画のPDCAサイクルを適切に管理していく。

事業概要

事務事業評価シート(平成29年度事業)

事務事業名	MICEの推進					事業類型	補助・負担・支援						
担当部課	産業振興部 産業政策課												
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興		まち・ひと・しごと創生総合戦略	-			
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	産業振興マスタープラン[第2期]、公益社団法人八王子観光コンベンション協会に対する補助金交付要綱												
事業目的 (最終的に目指す状態)	(公社)八王子観光コンベンション協会に対する補助を実施し、本市の観光資源・産業資源を生かしたMICE誘致活動を展開することで、中心市街地をはじめとした市域への一層の誘客を図り、まちのにぎわいの創出につなげるとともに、経済波及効果を生み出していく。												

行政コスト計算書

(単位 円)

勘定科目		28年度	29年度	対前年度	勘定科目	28年度	29年度	対前年度		
経常費用	人件費	職員給与費	6,154,461	5,083,072	1,071,389	経常収入	保険料	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	1,046,354	417,340	629,014		国庫支出金	0	0	0
		その他	0	0	0		都支出金	1,500,000	0	1,500,000
	小計	7,200,815	5,500,412	1,700,403	分担金及び負担金		0	0	0	
	物件費等	物件費	571,692	0	571,692		使用料及び手数料	0	0	0
		維持補修費	0	0	0		繰入金	0	0	0
		減価償却費	0	0	0		その他	285,846	1,304,289	1,018,443
		その他	0	0	0		小計	1,785,846	1,304,289	481,557
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0		経常収支差額(A)	25,799,364	34,970,639	9,171,275
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0		特別費用	0	0	0
その他		0	0	0	特別収入	0	0	0		
小計	0	0	0	特別収支差額(B)	0	0	0			
小計	7,772,507	5,500,412	2,272,095	本年度収支差額(A)+(B)=(C)	25,799,364	34,970,639	9,171,275			
移転費用	19,812,703	30,774,516	10,961,813	一般財源充当額(D)	25,967,651	36,355,928	10,388,277			
小計	27,585,210	36,274,928	8,689,718	再計(C)+(D)	168,287	1,385,289	1,217,002			

29年度	経常費用	経常収入
主な内訳	八王子観光コンベンション協会補助金【30,774,516円】	
主な増減理由	プロパー職員の増員による人件費の増【5,170,066円】 MICE推進活動費の皆増【17,569,303円】 MICE開催支援費の皆増【2,000,000円】 調査分析活動費の皆減【13,777,556円】	多摩の魅力発信支援補助金の皆減【1,500,000円】 八王子MICE都市推進センター準備室建物使用料の皆減【285,447円】

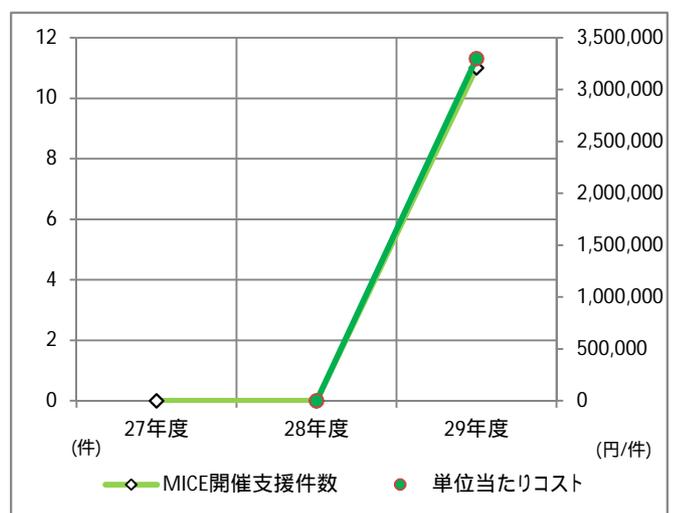
事業の人員体制

	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	0.70人	0.84人	0.70人	0.14人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.70人	0.84人	0.70人	0.14人

指標と単位当たりコスト

指標名	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
MICE開催支援件数			11	11
単位当たりコスト			3,297,721	
ワーキング会議の開催回数	25	28	17	11
単位当たりコスト		985,186	2,133,819	1,148,633
単位当たりコスト				

利用状況・コストの推移



事業実績

29年度 目標	MICE誘致件数 5件	28年度末時点 の課題と対応	MICE開催者に対する支援内容の確立 中長期的な人員体制
			一部解決
主な 活動実績	<p>商品開発 MICEと花柳界 お座敷体験ツアー、市内を巡るエクスカーション等の試行ツアーの催行</p> <p>開催支援 開催補助制度の構築、運用</p> <p>・プロモーション事業 ARカードの制作、配布 ホームページの多言語化</p> <p>・その他 東京都の多摩ビジネスイベント重点支援エリアの指定</p>		
29年度評価	達成	次年度の展開	拡充

今後の取組

30年度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子観光コンベンション協会と連携し、市内MICE関連事業者によるネットワークの構築、運用 ・MICE誘致件数 6件 	29年度末 時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・MICE開催者に対する支援内容の確立 ・八王子観光コンベンション協会の中長期的な人員体制と費用負担
30年度の 取組	<ul style="list-style-type: none"> ・市内事業者等を対象とするMICEセミナーの定期開催 ・大学、病院等へのMICEセールスの強化 ・市内宿泊施設の稼働状況調査 ・事業者ネットワーク、開催支援等の調査、研究 	31年度の 計画	<ul style="list-style-type: none"> ・MICE誘致件数 7件

事業概要

事務事業評価シート(平成29年度事業)

事務事業名	事業資金助成						事業類型	調査・企画立案					
担当部課	産業振興部 産業政策課												
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37	企業支援			まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-	
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	事業資金融資あっ旋条例、事業資金融資あっ旋要綱、マル経融資利子補給金補助金交付要綱												
事業目的 (最終的に目指す状態)	市内で小規模事業を営み、または営もうとする法人・個人に対し、その事業に要する資金について金融機関に融資をあっ旋することによって、小規模事業者の自主的な経済活動を促進し、もって小規模事業の育成及び振興に寄与する。												

行政コスト計算書

(単位 円)

勘定科目		28年度	29年度	対前年度	勘定科目	28年度	29年度	対前年度		
経常費用	人件費	職員給与費	7,253,477	7,987,685	734,208	経常収入	保険料	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	1,233,210	2,062,797	829,587		国庫支出金	0	0	0
		その他	6,987,217	6,991,164	3,947		都支支出金	0	0	0
	小計	15,473,904	17,041,646	1,567,742	分担金及び負担金		0	0	0	
	物件費等	物件費	1,359,390	1,374,970	15,580		使用料及び手数料	0	0	0
		維持補修費	0	0	0		繰入金	0	0	0
		減価償却費	373,800	249,200	124,600		その他	0	0	0
		その他	0	0	0		小計	0	0	0
	小計	1,733,190	1,624,170	109,020	経常収支差額(A)		201,119,451	216,995,083	15,875,632	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0		特別費用	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0		特別収入	0	0	0
		その他	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0
	小計	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		201,119,451	216,995,083	15,875,632	
	小計	17,207,094	18,665,816	1,458,722	一般財源充当額(D)		200,943,981	216,617,861	15,673,880	
	移転費用	183,912,357	198,329,267	14,416,910	再計(C)+(D)		175,470	377,222	201,752	
小計	201,119,451	216,995,083	15,875,632							

29年度	経常費用	経常収入
主な内訳	信用保証料補助金[85,001,610円] 利子補給金[113,327,657円]	
主な増減理由	小口事業資金信用保証料補助金の増[10,363,311円] 企業活力支援資金信用保証料補助金の減[10,424,410円] 創業支援資金保証料補助金の増[2,474,184円] 小口事業資金利子補給金の増[9,141,262円]	

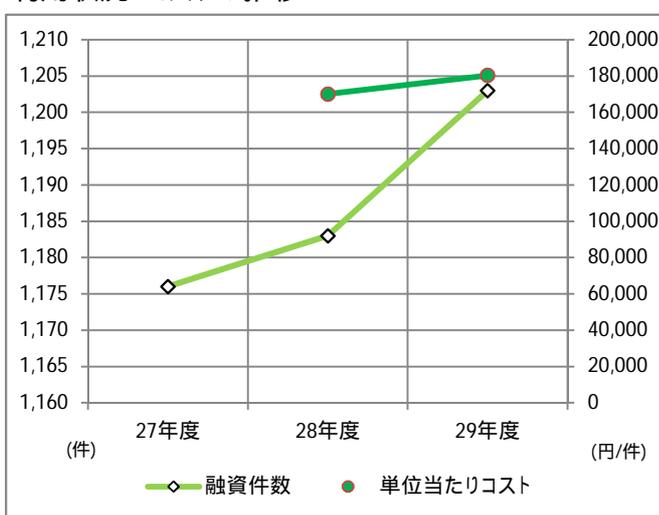
事業の人員体制

	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	0.77人	0.99人	1.10人	0.11人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.72人	0.72人	0.72人	0.00人
計	1.49人	1.71人	1.82人	0.11人

指標と単位当たりコスト

指標名	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
融資件数	1,176	1,183	1,203	20
単位当たりコスト		170,008	180,378	10,370
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

利用状況・コストの推移



事業実績

29年度 目標	中小企業が安定的、効率的な経営ができるよう事業資金をあっ旋するほか、信用保証料補助等の支援を引き続き行う。	28年度末時点 の課題と対応	都制度による信用保証料補助を活用できるよう引き続き調査研究する。
			未解決
主な 活動実績	市内で小規模事業を営み、または営もうとする法人・個人に対し、その事業に要する資金について金融機関に融資をあっ旋し、融資に伴う信用保証料の補助や利子補給を行った。また、八王子商工会議所等が行う経営指導(6か月間)を修了した中小企業に対し、日本政策金融公庫の低利融資にかかる利子の一部を補助した。		
29年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

今後の取組

30年度 目標	都との連携による新制度構築の検証	29年度末 時点の課題	都制度を併用した信用保証料補助制度の検討
30年度の 取組	都との連携による新制度構築に向けた調査研究	31年度の 計画	小規模事業者に対する利便性の高い事業資金あっ旋制度を運用

事業概要

事務事業評価シート(平成29年度事業)

事務事業名	商店街の振興					事業類型	イベント					
担当部課	産業振興部産業政策課											
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41			にぎわいにつながる産業の振興	まち・ひと・しごと創生総合戦略	-	
予算科目	会計	一般会計		款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	平成29年度八王子市はばたけ商店街事業補助金交付要綱・八王子市輝く個店グループ支援事業補助金交付要綱・商店街振興組合法・八王子市産業振興会議設置要綱・八王子市商店街防犯設備整備事業補助金交付要綱											
事業目的 (最終的に目指す状態)	商店街の整備、店舗の集団化、共同店舗等の整備等の事業の実施を円滑にし、中小小売商業者の経営の近代化を促進すること等により、中小小売商業の振興を図る。											

行政コスト計算書

(単位 円)

勘定科目		28年度	29年度	対前年度	勘定科目	28年度	29年度	対前年度		
経常費用	人件費	職員給与費	12,455,457	10,674,450	1,781,007	経常収入	保険料	0	0	
		賞与・退職手当引当金繰入額	6,475,123	876,415	5,598,708		国庫支出金	0	0	
		その他	0	0	0		都支出金	21,112,000	27,249,000	6,137,000
	小計	18,930,580	11,550,865	7,379,715	分担金及び負担金		0	0	0	
	物件費等	物件費	140,000	226,000	86,000		使用料及び手数料	0	0	0
		維持補修費	0	0	0		繰入金	0	0	0
		減価償却費	0	0	0		その他	694,919	214,702	480,217
		その他	0	0	0		小計	21,806,919	27,463,702	5,656,783
	小計	140,000	226,000	86,000	経常収支差額(A)		36,074,661	33,830,163	2,244,498	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0		特別費用	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0		特別収入	0	0	0
		その他	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0
	小計	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		36,074,661	33,830,163	2,244,498	
	小計	19,070,580	11,776,865	7,293,715	一般財源充当額(D)		31,986,279	35,401,650	3,415,371	
	移転費用	38,811,000	49,517,000	10,706,000	再計(C)+(D)		4,088,382	1,571,487	5,659,869	
小計	57,881,580	61,293,865	3,412,285							

29年度	経常費用	経常収入
主な内訳	はばたけ商店街事業補助金【46,517,000円】	
主な増減理由	29年度に商店街街路灯整備(1件)があったため	

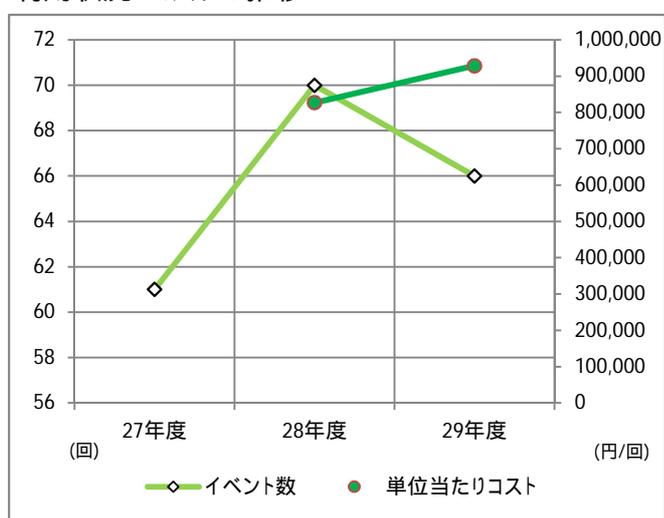
事業の人員体制

	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	1.08人	1.60人	1.47人	0.13人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.08人	1.60人	1.47人	0.13人

指標と単位当たりコスト

指標名	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
イベント数	61	70	66	4
単位当たりコスト		826,880	928,695	101,815
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

利用状況・コストの推移



事業実績

29年度 目標	更なる共同化を進め、相乗効果を生むイベント作り。	28年度末時点 の課題と対応	複数のイベントを同一日開催とすることで、多くの来街者を生み出すこと。
			解決
主な 活動実績	はばたけ商店街補助事業 29年度イベント事業 36商店会 1商店会連合会 商工会議所 活性化事業 2商店会 輝く個店グループ支援事業 29年度 2事業		
29年度評価	達成	次年度の展開	改善

今後の取組

30年度 目標	相乗効果の検証と、より効果的な補助のあり方の検討。	29年度末 時点の課題	体力の無い小規模商店街への支援策
30年度の 取組	東京オリンピック、パラリンピックを契機にインバウンドを進める。	31年度の 計画	東京オリンピック、パラリンピックを契機にインバウンドを進める。

事業概要

事務事業評価シート(平成29年度事業)

事務事業名	地域産業振興推進					事業類型	調査・企画立案					
担当部課	産業振興部産業政策課											
基本計画	編	5	章	1	施策番号	36		産業振興の体制強化	まち・ひと・しごと創生総合戦略	—	—	
予算科目	会計	一般会計		款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	地方自治法、地方公務員法、非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例											
事業目的 (最終的に目指す状態)	市の産業振興全般に関して、必要に応じ市長に進言し又は助言する。											

行政コスト計算書

(単位 円)

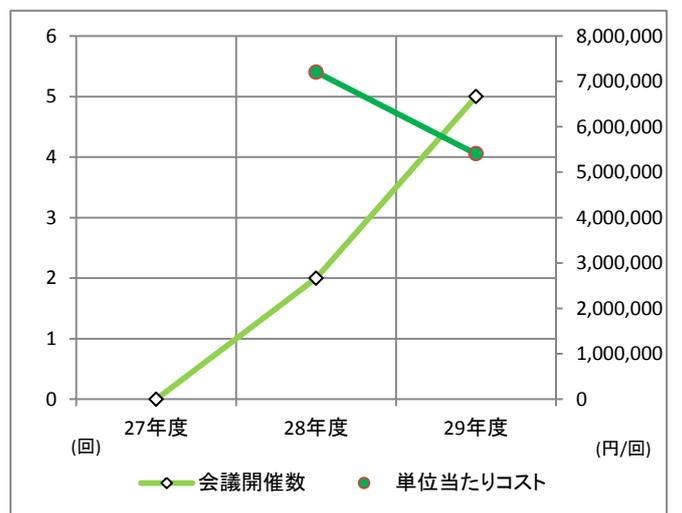
勘定科目		28年度	29年度	対前年度	勘定科目	28年度	29年度	対前年度		
経常費用	人件費	職員給与費	7,180,205	13,579,063	6,398,858	経常収入	保険料	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	3,134,673	7,953,656	4,818,983		国庫支出金	0	0	0
		その他	1,560,000	1,560,000	0		都支出金	0	0	0
	小計	11,874,878	23,092,719	11,217,841	分担金及び負担金		0	0	0	
	物件費等	物件費	2,490,365	2,000,324	△ 490,041		使用料及び手数料	0	0	0
		維持補修費	0	0	0		繰入金	0	0	0
		減価償却費	0	0	0		その他	2,812,298	0	△ 2,812,298
		その他	0	0	0		小計	2,812,298	0	△ 2,812,298
	小計	2,490,365	2,000,324	△ 490,041	経常収支差額(A)		△ 11,592,945	△ 27,033,043	△ 15,440,098	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0		特別費用	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0		特別収入	0	0	0
		その他	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0
	小計	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		△ 11,592,945	△ 27,033,043	△ 15,440,098	
	小計	14,365,243	25,093,043	10,727,800	一般財源充当額(D)		12,875,630	21,239,926	8,364,296	
	移転費用	40,000	1,940,000	1,900,000	再計(C)+(D)		1,282,685	△ 5,793,117	△ 7,075,802	
小計	14,405,243	27,033,043	12,627,800							

29年度	経常費用	経常収入
主な内訳	産業振興参与報酬【1,560,000円】 産業振興会議謝礼【212,000円】	—
主な増減理由	産業振興会議開催回数増に伴う人件費の増【11,217,841円】	—

事業の人員体制

	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	0.70人	1.08人	1.87人	0.79人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.70人	1.08人	1.87人	0.79人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

指標名	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
① 会議開催数	—	2	5	3
① 単位当たりコスト	—	7,202,622	5,406,609	△ 1,796,013
② 単位当たりコスト	—	—	—	—
③ 単位当たりコスト	—	—	—	—

事業実績

29年度 目標	産業振興マスタープラン【第2期】後期実行計画策定 における助言	28年度末時点 の課題と対応	—
			—
主な 活動実績	産業振興会議 5回開催		
29年度評価	達成	次年度の展開	縮小

今後の取組

30年度 目標	6次産業化、地域ブランドの創出の検討	29年度末 時点の課題	—
30年度の 取組	6次産業化、地域ブランドの創出 オリンピックに向けたMICEの推進	31年度の 計画	6次産業化、地域ブランドの創出 オリンピックに向けたMICEの推進

事業概要

事務事業評価シート(平成29年度事業)

事務事業名	観光資源の開発・活用					事業類型	その他						
担当部課	産業振興部 観光課												
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興		まち・ひと・しごと創生総合戦略	—	—		
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	観光費
根拠法令等	覚書(地権者と市の間で取り交わしている)、平成29年度八王子観光コンベンション協会に対する補助金交付要綱、観光立国推進基本法、八王子市いきいき産業基本条例												
事業目的 (最終的に目指す状態)	本市の緑豊かな自然をはじめ、長い歴史と伝統文化など、来訪者を魅了する観光資源を発見・開発・活用し、まちのイメージアップによる来訪者の増加を図る。												

行政コスト計算書

(単位 円)

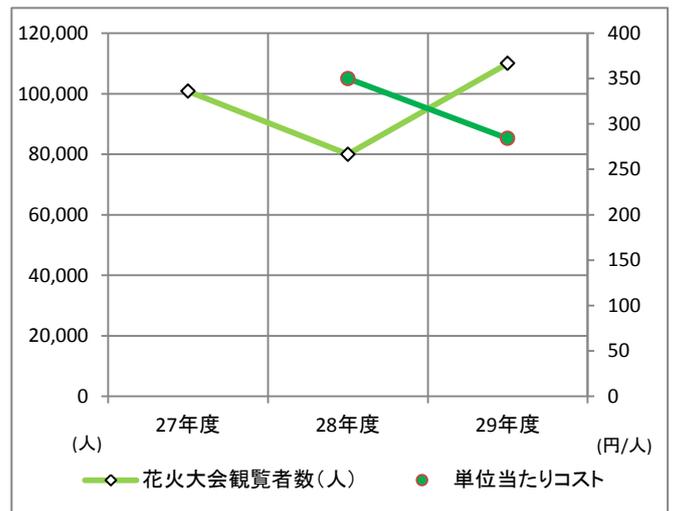
勘定科目		28年度	29年度	対前年度	勘定科目	28年度	29年度	対前年度		
経常費用	人件費	職員給与費	9,451,493	8,641,221	△ 810,272	経常収入	保険料	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	2,128,332	709,479	△ 1,418,853		国庫支出金	0	0	0
		その他	0	0	0		都支出金	0	0	0
	小計	11,579,825	9,350,700	△ 2,229,125	分担金及び負担金		0	0	0	
	物件費等	物件費	8,946,360	8,628,858	△ 317,502		使用料及び手数料	4,117,680	3,588,304	△ 529,376
		維持補修費	259,200	0	△ 259,200		繰入金	0	0	0
		減価償却費	0	0	0		その他	866,956	134,193	△ 732,763
		その他	0	0	0		小計	4,984,636	3,722,497	△ 1,262,139
	小計	9,205,560	8,628,858	△ 576,702	経常収支差額(A)		△ 23,031,968	△ 27,560,280	△ 4,528,312	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0		特別費用	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0		特別収入	0	0	0
		その他	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0
	小計	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		△ 23,031,968	△ 27,560,280	△ 4,528,312	
	小計	20,785,385	17,979,558	△ 2,805,827	一般財源充当額(D)		23,708,235	28,789,715	5,081,480	
	移転費用	7,231,219	13,303,219	6,072,000	再計(C)+(D)		676,267	1,229,435	553,168	
小計	28,016,604	31,282,777	3,266,173							

29年度	経常費用	経常収入
主な内訳	八王子花火大会補助金【12,857,000円】 滝山観桜林の維持管理【5,486,773円】 高尾梅の里維持管理【3,588,304円】	高尾山麓駐車場使用料【3,588,304円】
主な増減理由	全国都市緑化はちおうじフェアの会場となる富士森陸上競技場が急遽工事により使用できなくなったため、サテライト会場の設置や安全対策に要する経費が増加したことによる。	高尾梅の里において、H28に修繕を行っているため。

事業の人員体制

	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	1.44人	1.29人	1.19人	△ 0.10人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.44人	1.29人	1.19人	△ 0.10人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

	指標名	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
①	花火大会観覧者数(人)	100,800	80,000	110,000	30,000
	単位当たりコスト	—	350	284	△ 66
②	木下沢梅林来訪者数(人)	8,399	14,603	13,897	△ 706
	単位当たりコスト	—	1,919	2,251	332
③					
	単位当たりコスト	—	—	—	—

事業実績

29年度 目標	業務遂行により、効果的に観光資源の発見・開発・活用が図られており、来訪者数が増加している。 花火大会観覧者と木下沢梅林来園者の合計年間95,000人。	28年度末時点 の課題と対応	今後も、引き続き適正な観光資源の維持管理が求められる。H29の花火大会は緑化フェア会場となる陸上競技場の工事を中断して花火大会の観覧場所にするため、安全対策等これまで経験したことのない対応が求められる。また、H30～31は陸上競技場が改修工事のため、花火大会の観覧スペースが減ることから、実施方法の検討が必要である。 一部解決
主な 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子花火大会等への補助事業を実施した。なお、全国都市緑化はちおうじフェアの開催準備に伴い、花火大会の観覧スペースとして予定していた富士森公園陸上競技場が急遽使用できなくなる事案が発生した。この事態に対応するため、サテライト会場を富士森体育館駐車場、デニーズ横、第七小学校ほかに設置し、緊急動線の確保など安全対策を主催者等と連携して構築し、花火大会を無事故で終了させることができた。 ・滝山観桜林、高尾梅の里等の環境維持事業を実施し、観覧者等の安全確保・交通誘導などに努め、賑わいを創出した。 ・花火大会観覧者と木下沢梅林来園者の合計およそ120,000人(年間) 		
29年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

今後の取組

30年度 目標	事業遂行により、効果的に観光資源の発見・開発・活用が図られており、来訪者数が増加している。花火大会観覧者と木下沢梅林来園者の合計 年間100,000人。	29年度末 時点の課題	今後も、引き続き適正な観光資源の維持管理が求められる。 なお、花火大会については、H31は陸上競技場の改修工事により打揚場所及び観覧スペースの十分な確保が見込めないこと、また、H32は東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う警察及びガードマンの人員確保が困難を極めると予想されることから、早期段階での開催方法の検討を要する。
30年度の 取組	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子花火大会の運営支援 ・滝山観桜林の環境維持 ・高尾梅の里の環境整備 	31年度の 計画	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮)八王子花火大会の運営支援 ・滝山観桜林の環境維持 ・高尾梅の里の環境整備

事業概要

事務事業評価シート(平成29年度事業)

事務事業名	観光資源情報の活用						事業類型					
担当部課	産業振興部 観光課											
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-		
予算科目	会計	一般会計		款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	観光費
根拠法令等	平成29年度(公社)八王子観光コンベンション協会に対する補助金交付要綱、観光立国推進基本法、八王子市いきいき産業基本条例											
事業目的 (最終的に目指す状態)	(公社)八王子観光コンベンション協会とともに、市内の多岐にわたる魅力を市内外及び海外に発信することによる来訪者の増加、またおもてなしの向上により、リピーターが増加し、市内が賑わいにあふれ活力に満ち溢れている状況を目指す											

行政コスト計算書

(単位 円)

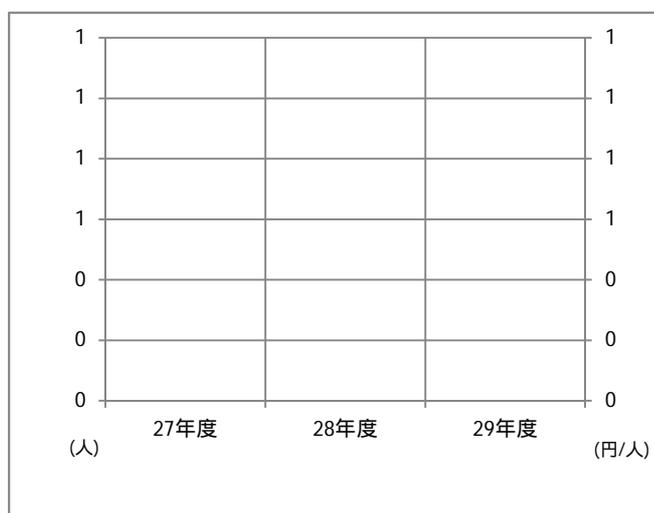
勘定科目		28年度	29年度	対前年度	勘定科目	28年度	29年度	対前年度		
経常費用	人件費	職員給与費	9,451,493	11,691,064	2,239,571	経常収入	保険料	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	2,854,662	4,221,691	1,367,029		国庫支出金	0	0	0
		その他	0	0	0		都支出金	0	1,279,400	1,279,400
	小計	12,306,155	15,912,755	3,606,600	分担金及び負担金		0	0	0	
	物件費等	物件費	203,635	3,336,144	3,132,509		使用料及び手数料	558,582	0	558,582
		維持補修費	0	0	0		繰入金	0	0	0
		減価償却費	197,457	197,457	0		その他	468,328	5,133,944	4,665,616
		その他	0	0	0		小計	1,026,910	6,413,344	5,386,434
	小計	401,092	3,533,601	3,132,509	経常収支差額(A)		41,293,475	50,076,529	8,783,054	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0		特別費用	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0		特別収入	0	0	0
		その他	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0
	小計	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		41,293,475	50,076,529	8,783,054	
	小計	12,707,247	19,446,356	6,739,109	一般財源充当額(D)		40,268,111	47,828,955	7,560,844	
	移転費用	29,613,138	37,043,517	7,430,379	再計(C)+(D)		1,025,364	2,247,574	1,222,210	
小計	42,320,385	56,489,873	14,169,488							

29年度	経常費用	経常収入
主な内訳	インフォメーションセンターの管理運営 [27,284,000円] 外国人観光客の誘致 [7,785,386円] 観光マップ等の作成 [4,000,000円]	都支出金 [1,279,400円] 多摩島しょ広域連携活動助成金 [5,000,000円] 区市町村観光インフラ補助金 [113,000円]
主な増減理由	2019年ラグビーワールドカップ及び2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とした外国人観光客誘致に対するインバウンド対応の充実に向けた経費増。	東京都「多摩島しょ広域連携活動助成金」の対象となる事業であるため。

事業の人員体制

	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	1.27人	1.29人	1.61人	0.32人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	1.27人	1.29人	1.61人	0.32人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

指標名	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

事業実績

29年度 目標	市内外に効果的に魅力ある観光情報を発信できており、本市の知名度が向上し、観光客が増加している。 観光客数 年間800万人	28年度末時点 の課題と対応	観光ガイドマップの見直しを行い、来訪者が必要とする内容を盛りこみ(全図)を行うなど刷新を図った。また、外国人観光客誘致に向けたツールの作成等力を入れ、他市との差別化を図った。さらに、都内での無料観光PRの実施など新規開拓も行った。
		解決	
主な 活動実績	<p>【外国人観光客誘致】</p> <p><セールスコール(海外旅行博)></p> <p>台湾プロモーション:1回 ドイツベルリンプロモーション:1回</p> <p>12月送付 中国:357、香港:85、韓国:94、東南アジア(シンガポール他):304</p> <p><QRコード付観光扇子・・・16,000本、QRコード付観光リーフレット(PhotogenicHACHIOJI)・・・50,000部></p> <p><高尾山・リニア地区事業・・・市場調査及びモニターツアーの実施による動向・志向データの取得></p> <p>【観光PR】PR実施回数 25回 はちまるガイド等配布:54,000袋</p> <p>【観光案内所】インフォメーションセンター:利用者数125,354人 開館日数365日</p> <p>観光・まちなか案内所:利用者数22,207人 開館日数298日</p> <p>高尾山口観光案内所:利用者数211,520人 開館日数365日</p> <p>観光・まちなか休憩所:利用者12,248人 開館日数73日</p> <p>八王子インフォメーションセンター(カテゴリー)、高尾山口観光案内所(カテゴリー)を取得。</p> <p>【八・連携事業】八・緑マウンテンウォーキング 平成30年3月10日(会場:高尾山) 参加者229人</p>		
29年度評価	達成	次年度の展開	拡充

今後の取組

30年度 目標	本市の特色的な見どころや観光資源を活用した観光客誘致や認知度の向上を図るとともに、2019ラグビーワールドカップや2020東京大会の開催に向けた外国人観光客の誘致を推進する。	29年度末 時点の課題	観光客の誘致及び来訪者の満足に向けた、観光大使やPR特使さらに100年応援団の発展的な活用、また、観光PRの業務委託、観光案内所における職場環境の整備等の検討が必要である。
30年度の 取組	昨年度までの取り組みを継続するとともに、観光大使制度の発展的な活用(100年応援団含む)や観光PR業務委託の実施、また、職場環境の整備に向けたコンベンション協会と協議を図る。また、外国人観光客の誘致に向け「高尾山・リニア地区」事業を推進する。	31年度の 計画	観光ガイドマップやPRツール(観光扇子、リーフレット)を活用した市外及び国外へのPRを実施するとともに、外国人観光客の誘致に向け「高尾山・リニア地区」事業を実施し2020東京大会を契機とした来訪者の誘致を図る。

事業概要

事務事業評価シート(平成29年度事業)

事務事業名	一般観光の推進					事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 観光課											
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興		まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-	
予算科目	会計	一般会計		款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	観光費
根拠法令等	平成29年(公社)八王子観光コンベンション協会に対する補助金交付要綱、八王子市いきいき産業基本条例											
事業目的 (最終的に目指す状態)	観光産業振興プランの主体的な担い手である(公社)八王子観光コンベンション協会の人件費の一部を補助し、本市と相互に連携することで、観光客の誘致を促進し、本市の観光振興を図る。											

行政コスト計算書

(単位 円)

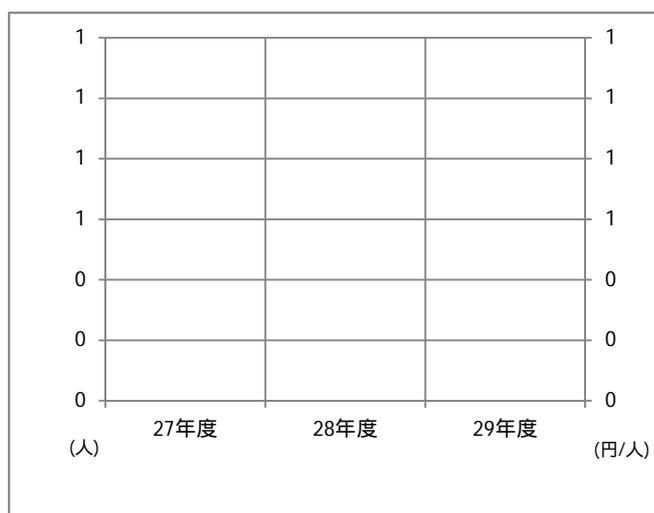
勘定科目		28年度	29年度	対前年度	勘定科目	28年度	29年度	対前年度		
経常費用	人件費	職員給与費	3,590,103	16,411,059	12,820,956	経常収入	保険料	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	1,301,425	14,986,007	13,684,582		国庫支出金	0	0	0
		その他	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	小計	4,891,528	31,397,066	26,505,538	分担金及び負担金		0	0	0	
	物件費等	物件費	3,688,730	9,059,991	5,371,261		使用料及び手数料	0	0	0
		維持補修費	0	0	0		繰入金	0	0	0
		減価償却費	0	0	0		その他	1,575,794	2,717,593	1,141,799
		その他	0	0	0		小計	1,575,794	2,717,593	1,141,799
	小計	3,688,730	9,059,991	5,371,261	経常収支差額(A)		44,886,464	90,239,263	45,352,799	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0		特別費用	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0		特別収入	0	0	0
		その他	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0
小計	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)	44,886,464	90,239,263	45,352,799			
小計	8,580,258	40,457,057	31,876,799	一般財源充当額(D)	44,148,979	76,588,697	32,439,718			
移転費用	37,882,000	52,499,799	14,617,799	再計(C)+(D)	737,485	13,650,566	12,913,081			
小計	46,462,258	92,956,856	46,494,598							

29年度	経常費用	経常収入
主な内訳	八王子観光コンベンション協会補助金[52,289,799円] 八王子観光コンベンション協会事務所管理費[8,588,729円]	協会使用分の実費負担[2,717,593円]
主な増減理由	改組したコンベンション協会の組織方針等を決定する各委員会委員への報酬等の増。また、MICE推進に係る備品購入や人員増による電話LAN配線、コンセント、間仕切りなどの工事による経費増。	協会使用面積増による負担額の増

事業の人員体制

	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	0.39人	0.49人	2.26人	1.77人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.39人	0.49人	2.26人	1.77人

利用状況・コストの推移



指標と単位当たりコスト

指標名	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

事業実績

29年度 目標	発展的改組を行った八王子観光コンベンション協会とともに、ビジネス観光を含めた観光推進を行うとともに、広域観光の拠点地域として、他市等の連携を図り、観光客の周遊を目指す。	28年度末時点 の課題と対応	観光関連諸団体との関係の必要性も見極め検討する。 一部解決
主な 活動実績	(公社)八王子観光コンベンション協会が、本市の観光振興を新たなステップに進めるため、MICE誘致を担う組織を付加し、発展的な組織として改組された。また、新たな組織のもと計画的かつ総合的な観光施策等を考案、委員会組織を立ち上げ、各分野の市内業者等による検討が行われた。事業の整理等、関係機関との連携のもと、より効果的・効率的な観光振興策を推進に向け調整を行った。また、関連団体等の連携を深め今後あらたな展開に結びつけるため、市制100周年記念事業である緑化フェア期間中に北条五代観光推進協議会の幹事会を本市で行い、歴史や農産物、食文化などの魅力発信に努め、市域を超えた交流人口の増加や、北条の大河ドラマ化に向けた活動を行った。さらに、関東観光広域連携事業推進協議会に加盟し、2019年ラグビーワールドカップや2020年東京大会に向けた外国人観光客誘致に向け、市町村などの行政及び観光関連事業者などによる外国人観光客の受入環境整備の推進及び関東の国際的な観光認知度の向上を図った。		
29年度評価	達成	次年度の展開	拡充

今後の取組

30年度 目標	八王子観光コンベンション協会や関連団体とともに、本市の魅力的な観光資源やみどころ等を集約した観光ツールを活用し、東京オリンピックに伴う海外や市外からの観光客の誘致や周遊促進を目指す。	29年度末 時点の課題	コンベンション協会既存事業の精査、また、各事業における事務局機能の体制強化及び変更の検討。また、高尾山リニア広域連携事業における連携5市との公平な役割分担の検討。
30年度の 取組	八王子観光コンベンション協会が取り組む、MICEを活用したビジネス観光や一般観光の後押しを行うとともに、高尾山リニア広域連携事業や北条氏の大河ドラマ化等による既存ツールの磨き上げや外国人観光客をはじめとする来訪者誘致の促進を行う。	31年度の 計画	2021年の産業交流拠点の開設に向け、八王子観光コンベンション協会等が行う事業へ補助金等の支出を行うとともに、本市の磨き上げたツールを関連団体へ向け情報提供する。また、2019年ラグビーワールドカップ及び2020年東京大会を契機とした、海外及び市外からの観光客の誘致を行う。

事業概要

事務事業評価シート(平成29年度事業)

事務事業名	都市活性化					事業類型	補助・負担・支援						
担当部課	産業振興部 観光課												
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興		まち・ひと・しごと創生総合戦略	-	-		
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	観光費
根拠法令等	平成29年度活力ある都市づくり推進事業補助金交付要綱、八王子市いきいき産業基本条例												
事業目的 (最終的に目指す状態)	「ファッション都市・八王子基本構想」をもとに、商工会議所が中心となって行われるファッション都市協議会の活力ある都市づくり推進事業を支援し、中心市街地を主軸とした、本市の活性化を図る。												

行政コスト計算書

(単位 円)

勘定科目		28年度	29年度	対前年度	勘定科目	28年度	29年度	対前年度			
経常費用	人件費	職員給与費	1,831,685	871,384	960,301	経常収入	保険料	0	0	0	
		賞与・退職手当引当金繰入額	587,836	71,544	516,292		国庫支出金	0	0	0	
		その他	0	0	0		都支出金	0	0	0	
	小計	2,419,521	942,928	1,476,593	分担金及び負担金		0	0	0		
	業務費用	物件費等	物件費	0	0		0	使用料及び手数料	0	0	0
			維持補修費	0	0		0	繰入金	0	0	0
			減価償却費	0	0		0	その他	0	920,448	920,448
			その他	0	0		0	小計	0	920,448	920,448
	小計	0	0	0	経常収支差額(A)		4,419,521	2,022,480	2,397,041		
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0		特別費用	0	0	0	
徴収不能引当金繰入額		0	0	0	特別収入	0	0	0			
その他		0	0	0	特別収支差額(B)	0	0	0			
小計	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)	4,419,521	2,022,480	2,397,041				
小計	2,419,521	942,928	1,476,593	一般財源充当額(D)	4,135,346	3,124,514	1,010,832				
移転費用	2,000,000	2,000,000	0	再計(C)+(D)	284,175	1,102,034	1,386,209				
小計	4,419,521	2,942,928	1,476,593								

29年度	経常費用	経常収入
主な内訳	活力ある都市づくり推進事業補助金 [2,000,000円]	
主な増減理由		

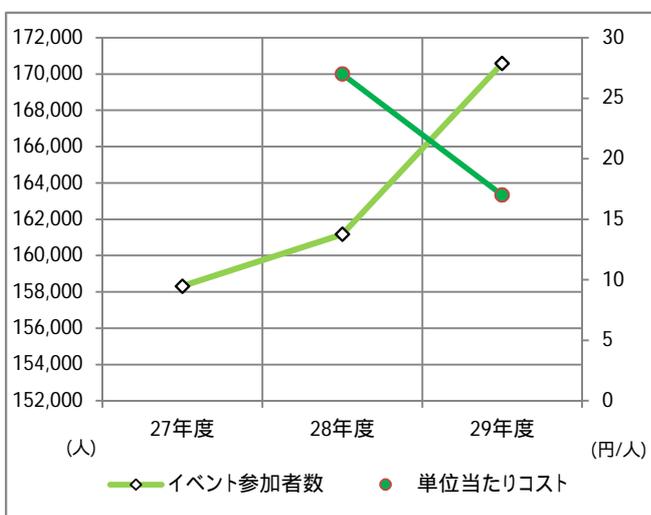
事業の人員体制

	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	0.06人	0.25人	0.12人	0.13人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.06人	0.25人	0.12人	0.13人

指標と単位当たりコスト

指標名	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
イベント参加者数	158,314	161,171	170,585	9,414
単位当たりコスト		27	17	10
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

利用状況・コストの推移



事業実績

29年度 目標	産官学民が一体となって、魅力あるイベントが企画・開催され、まちなかが多くの人でにぎわい、地域を活性化する。	28年度末時点 の課題と対応	担当所管の見直しや、市外からの来訪者を集客するためのPR方法の見直しが必要 一部解決																																
主な 活動実績	<table border="1" data-bbox="459 459 1251 714"> <thead> <tr> <th colspan="4">応募者件数及び来街者数</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>花と緑のまちづくりフェア、</td> <td>21,000</td> <td>20,000</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>Tシャツデザイン画100選、</td> <td>1,134</td> <td>1,171</td> <td>1,585</td> </tr> <tr> <td>八王子 夏の風物市、</td> <td>35,000</td> <td>35,000</td> <td>40,000</td> </tr> <tr> <td>八王子メッセ「街道市」</td> <td>60,000</td> <td>63,000</td> <td>63,000</td> </tr> <tr> <td>全国大陶器市</td> <td>42,000</td> <td>42,000</td> <td>46,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>159,134</td> <td>161,171</td> <td>170,585</td> </tr> </tbody> </table>			応募者件数及び来街者数					H27	H28	H29	花と緑のまちづくりフェア、	21,000	20,000	20,000	Tシャツデザイン画100選、	1,134	1,171	1,585	八王子 夏の風物市、	35,000	35,000	40,000	八王子メッセ「街道市」	60,000	63,000	63,000	全国大陶器市	42,000	42,000	46,000	計	159,134	161,171	170,585
応募者件数及び来街者数																																			
	H27	H28	H29																																
花と緑のまちづくりフェア、	21,000	20,000	20,000																																
Tシャツデザイン画100選、	1,134	1,171	1,585																																
八王子 夏の風物市、	35,000	35,000	40,000																																
八王子メッセ「街道市」	60,000	63,000	63,000																																
全国大陶器市	42,000	42,000	46,000																																
計	159,134	161,171	170,585																																
29年度評価	目標以上の達成	次年度の展開	現状維持																																

今後の取組

30年度 目標	産官学民一体となって魅力あるイベントが企画・開催され、まちなかが多くの人でにぎわい、地域を活性化する。	29年度末 時点の課題	担当所管の見直しや、市外からの来訪者を集客するためのPR方法の見直しが必要
30年度の 取組	中心市街地活性化を主とする各種イベント(花と緑のまちづくりフェア、Tシャツデザイン画100選、八王子夏の風物市、八王子メッセ「街道市」)等の開催に要する経費の一部を補助し、運営の支援を行う。さらに、担当所管の見直しを行い、事業の引き継ぎを行う	31年度の 計画	産業政策課への事業移管を行う。

事業概要

事務事業評価シート(平成29年度事業)

事務事業名	新たな観光資源の整備					事業類型	補助・負担・支援						
担当部課	産業振興部 観光課												
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興		まち・ひと・しごと創生総合戦略	-	-		
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	観光費
根拠法令等	平成29年度八王子フォロゲイニング滝山実行委員会負担金交付要綱、平成29年度観光産業補助金交付要綱、観光立国推進基本法、八王子市いきいき産業基本条例												
事業目的 (最終的に目指す状態)	本市の新たな観光産業の魅力を発掘し、来訪者の誘致及びにぎわいの創出を促す。												

行政コスト計算書

(単位 円)

勘定科目		28年度	29年度	対前年度	勘定科目	28年度	29年度	対前年度	
経常費用	人件費	職員給与費	6,081,194	7,915,068	1,833,874	経常収入	保険料	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	2,616,796	2,772,540	155,744		国庫支出金	0	0
		その他	0	0	0		都支出金	510,800	2,400,000
	小計	8,697,990	10,687,608	1,989,618	分担金及び負担金		0	0	
	物件費等	物件費	4,099,744	1,471,411	2,628,333		使用料及び手数料	0	0
		維持補修費	0	0	0		繰入金	0	0
		減価償却費	0	0	0		その他	1,859,321	0
		その他	0	0	0		小計	2,370,121	2,400,000
	小計	4,099,744	1,471,411	2,628,333	経常収支差額(A)		15,832,455	17,814,789	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0		特別費用	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0		特別収入	0	0
		その他	25,770	55,770	30,000		特別収支差額(B)	0	0
	小計	25,770	55,770	30,000	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		15,832,455	17,814,789	
	小計	12,823,504	12,214,789	608,715	一般財源充当額(D)		17,833,001	16,073,218	
	移転費用	5,379,072	8,000,000	2,620,928	再計(C)+(D)		2,000,546	1,741,571	
小計	18,202,576	20,214,789	2,012,213						

29年度	経常費用	経常収入
主な内訳	八王子フードフェスティバル補助金[3,000,000円] 体験楽習フェスティバル補助金[3,500,000円] 八王子フォロゲイニング滝山実行委員会負担金[1,500,000円]	都支出金[2,400,000円]
主な増減理由	市制100周年記念事業として規模を拡大して開催した八王子フードフェスティバル及び体験楽習フェスティバルの事業費増	東京都「多摩の魅力発信支援補助金」の対象となる事業であるため。

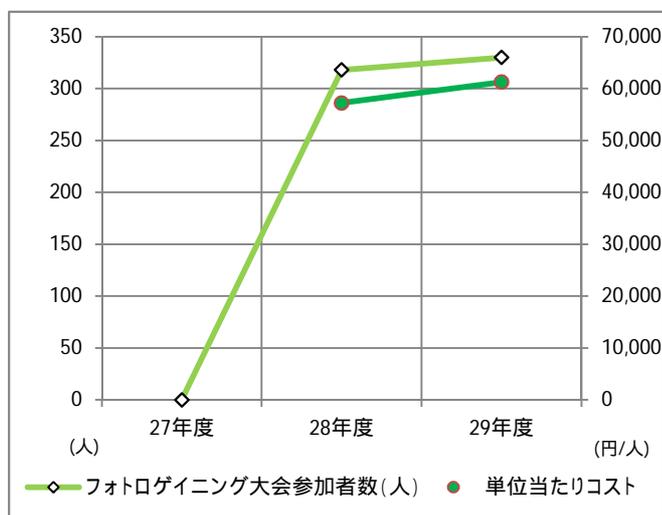
事業の人員体制

	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
一般職員	0.26人	0.83人	1.09人	0.26人
任期付職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
再任用職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
計	0.26人	0.83人	1.09人	0.26人

指標と単位当たりコスト

指標名	27年度	28年度(a)	29年度(b)	対前年度(b-a)
フォロゲイニング大会参加者数(人)		318	330	12
単位当たりコスト		57,241	61,257	4,016
単位当たりコスト				
単位当たりコスト				

利用状況・コストの推移



事業実績

29年度 目標	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年4月に「続日本100名城」に選定された国史跡・滝山城跡をはじめ、加住地域の観光資源のさらなる魅力の発信に努める。 市制100周年にからめ、都市緑化フェア会場でフードフェスティバルの開催や、体験楽習フェスティバルを開催し、本市の食や歴史文化等の魅力の発信に努める。 	28年度末時点 の課題と対応	<p>体験楽習事業コンテンツの決定が遅れたことにより、パブリシティー等で十分な周知ができなかった。</p>
解決			
主な 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 市内北部の加住地域を舞台に滝山三城（滝山城跡・高月城跡・根小屋城跡）などの観光スポットを周遊するイベントとして第2回目となるフォトゲイニング大会を開催し、賑わいの創出に努めた。また、滝山城跡が続日本100名城に選定されたことを好機として、お城EXPO2017に出展するなど、魅力の発信に努めた。 都内での農産物生産高が最も多く、交通網の発達により発展した独自の本市の食文化を市内外へ発信するための食のイベントであるフードフェスティバルを、緑化フェア会場において実施。また、本市の特色を活かした参加体験型プログラムを一つに束ねた体験楽習フェスティバルを8月の1ヶ月間市内各所で開催し、本市の新たな魅力発信に努めた。 		
29年度評価	達成	次年度の展開	現状維持

今後の取組

30年度 目標	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年4月に「続日本100名城」に選定された国史跡・滝山城跡をはじめ、加住地域の観光資源のさらなる魅力の発信に努める。 市内の農産物や食文化を発信するフェスティバルや、参加体験型の体験プログラムの活用や磨き上げを行うとともに、それらのコンテンツを効果的に活用し、観光客誘致に取り組む。 	29年度末 時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> フォトゲイニングは、競技の特性上、同地域内での継続開催が難しいことから、3年間限定の開催とすることがすでに決定しているため、平成31年度以降の新たな事業コンテンツの検討を要する。 中心市街地で行われていたフードフェスティバル会場を変更し、食文化やフェスティバルを市内各地域で周知するため会場変更を検討する。 体験楽習フェスティバルについて、2022年度の産業交流拠点の開設に向けた事業実施の方向性の検討
30年度の 取組	<ul style="list-style-type: none"> 加住地域を舞台に第3回目となるフォトゲイニング大会の実施 次年度以降に実施する事業を検討する。また、このコンテンツが地域の観光産業に寄与し、実施主体も加住地域が担うよう合意形成を図る。 フードフェスティバルについては南大沢の中郷公園での開催を検討し、中心市街地の飲食店に加え南大沢地域の飲食店の参加により本市の食文化の厚みがある。 体験楽習フェスティバルは、H29年度の参加団体やプログラムを発展させながら、フォーラムやデモプログラム等を実施する。 	31年度の 計画	<ul style="list-style-type: none"> フォトゲイニングに代わる事業コンテンツを活用した加住地域の観光資源の魅力発信 2021年度の産業交流拠点の開設に向けた、体験楽習プログラムやフードフェスティバルの実施を実行委員会が主体となり行う。

